

「北海道近現代史研究会」の活動状況について

2019年8月15日は「北海道命名150年」の節目に当たり、これを契機に蝦夷地・北海道史の探求への関心が道内でも高まっています。

こうしたなか、当研究所でも、2019年度より「北海道近現代史研究会」を設置し、近世期以降の蝦夷地・北海道の地方自治および社会インフラの整備などに関する調査・研究に着手しました。

2019年度は、次年度以降の研究会としての活動のスタートに向けた準備期間と位置づけ、「北海道史研究プロジェクト」の仮称のもと、主に基本的な情報収集に取り組みました。

2020年度からは、研究会名を「北海道近現代史研究会」と決定し、活動を本格化させるとともに、「近世期の蝦夷地」を大枠のテーマとして、幕藩体制（幕府と松前藩の関係）、松前藩とアイヌ民族の関係、日ロ関係などについて調査・研究を進めています。

本研究会の2019～20年度（19年4月～21年2月）の活動は以下のとおりです。

<2019年度>

(1) 旭川市内の史跡・文化施設等の視察

- 日 時 2019年7月15日（月）
- 視察先 北鎮記念館／兵村記念館／旧永山戸長役場／川村力子トアイヌ記念館／旭川市博物館 ほか

(2) 第1回学習会

- 日 時 2019年7月29日（月）15:00～17:00
- 会 場 北海道自治労会館 3F 役員会議室
- 内 容
講演「北海道150年と地方自治－医師で開拓者（陸別）・関寛斎の足跡を辿ってみえること」
講師：竹中英泰 氏（旭川大学名誉教授）

→ 本学習会の内容は、所報2019年9月号（第608号）に掲載。
竹中英泰「関寛斎の足跡から見える明治の北海道」

(3) 第2回学習会

- 日 時 2019年8月3日(土) 15:00～17:00
- 会 場 北海道自治労会館 5F 第3会議室
- 内 容

講演「アイヌ文化と北海道」

講師：本田優子 氏(札幌大学教授)

→ 本学習会の内容は、所報2020年1月号(第612号)に掲載。
本田優子「アイヌ文化と北海道」

(4) 小樽市内の史跡・文化施設等の視察

- 日 時 2019年9月18日(水)
- 視察先 小樽市公会堂／小林多喜二文学碑／旭展望台／
JR小樽駅周辺の歴史的建造物／小樽市総合博物館本館／
小樽市鯉御殿 ほか

(5) 第3回学習会

- 日 時 2019年10月11日(金) 15:30～17:30
- 会 場 北海道自治労会館 3F 第1会議室
- 内 容

講演「北海道150年の光と影～「開拓」と“地方自治”をめぐる」

講師：谷本晃久 氏(北海道大学大学院教授)

→ 本学習会の内容は、所報2020年3月号(第614号)に掲載。
谷本晃久「北海道150年の光と影－「開拓」と「地方自治」をめぐる」

(6) 札幌村郷土記念館の視察・ヒアリング

- 日 時 2019年11月20日(水) 14:00～15:00
- 会 場 札幌村郷土記念館 1Fロビー
- テーマ 札幌村郷土記念館の設立経緯、展示物の概要、運営体制・事業の現状など
- 対応者 玉井晶子 氏(札幌村郷土記念館保存会 事務局長)
山田治仁 氏(札幌村郷土記念館 館長)

→ 本ヒアリングのレポートは、所報2020年5月号(第616号)に掲載。
正木浩司「大友亀太郎の事績と札幌村の生活史を伝える
－「札幌村郷土記念館」を訪ねて」

<2020年度>

(7) 第4回学習会

- 日 時 2020年7月17日(金) 13:00～16:00
- 会 場 旭川市まちなか市民プラザ・会議室1
(旭川市1条通8丁目108 Feeeal 7 F)
- 内 容
講義「近世の蝦夷地における日露関係についてーラクスマンおよびレザノフの来航を中心に」
講師：竹中英泰 氏(旭川大学名誉教授/当研究所理事)

→ 本学習会の内容は、所報2020年9月号(第620号)に掲載。
竹中英泰「近世期の蝦夷地における日ロ関係史について
ー現代の北海道の地方自治との関わりを中心に」

(8) 第1回現地視察

- 日 時 2020年8月5日(水)～8日(土)
- 訪問地 函館市、松前町、江差町、木古内町
- 主な視察先
 - ・ 函館市(1日目・4日目)
碧血碑/函館市立博物館本館/高田屋嘉兵衛銅像/旧ロシア領事館/
函館ハリストス正教会/北海道坂本龍馬記念館/五稜郭跡 ほか
 - ・ 松前町(2日目)
松前藩屋敷/寺町エリア/松前城天守閣(資料館)/松前町郷土資料館/
国鉄旧松前線松前駅跡 ほか
 - ・ 江差町(3日目)
旧関川家別荘/旧中村家住宅/江差町郷土資料館/旧江差線江差駅跡 ほか
 - ・ 木古内町(3日目)
木古内町郷土資料館(いかりん館)

→ 本視察のレポートは、所報2020年11月号(第622号)に掲載。
・ 正木浩司「北海道近現代史研究会・第1回現地視察レポート
ー函館市・松前町・江差町を訪ねて」
・ 三輪修彪「アイヌモシリの行方と松前」

(9) 北海道労働文化協会主催「第41回全道勤労者文学歴史探訪」への参加

- 日 時 2020年9月26日(土) 9:00～17:00
- テーマ さっぽろ文化遺産の再発見
- 主な視察先
 - ・ 北電藻岩発電所と藻岩犠牲者の碑
 - ・ 石山緑地(石山軟石採掘所跡)
 - ・ 旧石山郵便局(ぼすとかん)と定山溪鉄道・石切山駅跡
 - ・ 特別講演「札幌の文化財」(講師＝山川伸也・札幌市職員)
 - ・ 北海道鉄道技術館
 - ・ 札幌村郷土記念館とその周辺(本龍寺、大友公園)

→ 本企画のレポートは、所報2021年1月号(第624号)に掲載。
正木浩司「文化遺産の視察を通じて札幌の近代史を学び直す
－「第41回全道勤労者文学歴史探訪」に参加して」

(10) 第5回学習会

- 日 時 2020年10月28日(水) 15:00～17:10
- 会 場 北海道自治労会館 3F 役員会議室
- 内 容
講演「北海道開拓から開発へー産業資本の移植・形成からその特徴を考える」
講師：小田 清 氏(北海学園大学名誉教授)

→ 本学習会の内容は、所報2021年1月号(第624号)に掲載。
小田清「北海道開拓から開発へ
ー産業資本の移植・形成からその特徴を考える」

(11) 第2回現地視察

- 日 時 2020年11月5日(木)～7日(土)
- 訪問地 北見市、佐呂間町、美幌町、網走市
- 主な視察先
 - ・ 北見市
常紋トンネル工事殉難者追悼碑・殉職者之墓／真言宗白竜山遍照院／
北光八幡神社(坂本直寛顕彰碑ほか)／ピアソン記念館／
北網圏北見文化センター／端野町歴史民俗資料館／鎖塚の区域／
ところ遺跡の森 ほか
 - ・ 佐呂間町
栃木神社(開基五十周年記念碑ほか)／佐呂間町開拓資料館

- ・ 美幌町
美幌博物館
- ・ 網走市
博物館網走監獄／道立北方民族博物館／モヨロ貝塚館／網走市立郷土博物館

→ 本視察のレポートは、所報2021年3月号（第626号）に掲載。

- ・ 正木浩司「北海道近現代史研究会・第2回現地視察レポート
ー北見市・佐呂間町・網走市を訪ねて」
- ・ 押谷 一「足尾鉍毒問題と北海道開拓のための移住政策」

(12) 第6回学習会

- 日 時 2021年2月26日（金）15:00～17:00
- 会 場 北海道自治労会館 3F 役員会議室
- 内 容
講演「アイヌの景観史」
講師：瀬川拓郎 氏（札幌大学教授）

→ 本学習会の記録は、所報2021年5月号（第629号）に掲載予定。

※ 講師等の所属・役職名は研究会開催当時のものです。

以上